

都市再生整備計画 事後評価シート
金沢中央地区(Ⅱ期)

平成26年3月

石川県金沢市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	石川県	市町村名	金沢市	地区名	金沢中央地区		面積	860ha	
交付期間	平成21年度～平成25年度	事後評価実施時期	平成25年度	交付対象事業費	7884.5	国費率	0.42		
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名						
			【道路(地方道)】 (継)4連区線1号外(近江町市場周辺道路)、高岡町線10号、三社町線15号(新幹線側道整備)、長土堀3丁目線33号外(新幹線側道整備)、石引2丁目地内道路整備工事、武蔵町線、広坂・新桜坂線(本多町歴史文化ゾーン整備事業)、片町・広坂1丁目線、兼六町線、武蔵・片町線、本町・白菊線、香林坊2丁目線、大手門中町通り線、準幹線514号本町・白菊線、西外惣構堀沿い(玉川公園横)、旧鶴来街道(蛤坂)(桜詰橋・寺町台界隈整備事業)、本多町3丁目線5号外2路線(本多町歴史文化ゾーン整備事業)、本多町3丁目線11号(本多町歴史文化ゾーン整備事業)						
			【道路(街路)】 金沢駅港線(金沢駅西広場)						
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【地域生活基盤施設】 桜橋左岸上流河岸緑地(仮称)(桜詰橋・寺町台界隈整備事業)、本多歴史の森(本多町歴史文化ゾーン整備事業)、桜橋右岸下流河岸緑地(桜詰橋・寺町台界隈整備事業)、金沢駅西にぎわい広場、三・四工区広場、耐震性貯水槽設置事業、まちなか歩行回廊整備事業						
			【高質空間形成施設】 金沢駅通り線せせらぎ水路整備事業、(継)木倉町通り無電柱化事業、お堀通り(大手町)無電柱化事業、旧北国街道(ふくろう通り)無電柱化事業、香林坊2丁目線(右衛門橋)無電柱化事業、鞍月用水沿い(香林坊2丁目)無電柱化事業、尾山神社参道無電柱化事業、大手門中町通り線無電柱化事業、準幹線514号本町・白菊線無電柱化事業、西外惣構堀沿い(玉川公園横)無電柱化事業、旧鶴来街道(蛤坂)無電柱化事業(桜詰橋・寺町台界隈整備事業)、緑の小径整備事業(本多町歴史文化ゾーン整備事業)、まちなか歩行回廊整備事業						
			提案事業 安江金箔工芸館移転整備事業、金沢歌劇座改修事業、防犯灯設置事業、鈴木大拙館(仮称)建設事業(本多町歴史文化ゾーン整備事業)、本多歴史の森(本多町歴史文化ゾーン整備事業)、バリアフリー推進事業、金沢駅利便性向上検討調査、金沢中央地区事業実施効果調査						
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
			【道路】 準幹線514号本町・白菊線、西外惣構堀沿い(玉川公園横)、旧鶴来街道(蛤坂)(桜詰橋・寺町台界隈整備事業)、本多町3丁目線1号外1路線(本多町歴史文化ゾーン整備事業)、本多町3丁目線11号(本多町歴史文化ゾーン整備事業)、香林坊2丁目線		準幹線514号本町・白菊線、西外惣構堀沿い(玉川公園横)、旧鶴来街道(蛤坂)、旧北国街道(ふくろう通り)無電柱化事業、香林坊2丁目線(右衛門橋)無電柱化事業、鞍月用水沿い(香林坊2丁目)無電柱化事業、準幹線514号本町・白菊線無電柱化事業、西外惣構堀沿い(玉川公園横)無電柱化事業、まちなか歩行回廊整備事業:他事業との調整に伴い事業を延期。 本多町3丁目線1号外1路線、本多町3丁目線11号、本多町3丁目線1号外1路線無電柱化事業:基幹事業から関連事業へ変更。		中心市街地の賑わいに関連するが影響は小さく、指標及び数値目標は据え置く。		
		提案事業							
			新たに追加した事業		基幹事業		【公園】玉川公園改修事業		玉川公園改修事業:防災機能を持った公園としてリニューアルするため。 中心市街地の賑わいに関連するが影響は小さく、指標及び数値目標は据え置く。
提案事業		逆水門改良事業				近年頻発する局的集中豪雨から歴史的なまちなみを守るため。 中心市街地の賑わいに関連するが影響は小さく、指標及び数値目標は据え置く。			
		金沢片町地区元気再生推進事業				中心市街地の活性化を推進するため。			
交付期間の変更	当初	平成21年度から平成25年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響						
	変更								


	指標		従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標1	重点整備地区人口の社会動態(増減差)	人/年	平均△5 H17~H19	0	H25	229	144	○	あり なし	事業を重層的に行ったことでまちの魅力向上に繋がり、人口減少の下げ止まりに貢献した。	平成26年4月
	指標2	主要商業地の歩行者通行量	人/日	休日 59,999 H19	休日60,000	H25	休日70,600	休日58,598	△	あり なし	● H24は雨天であったため目標は達成していないが、近年の歩行者通行量は増加傾向にある。	平成26年4月
	指標3	JR金沢駅の利用者数	人/年	3,727,370 (1月~12月) H15~H19	3,728,000 (4月~翌3月) H25	3,536,870 (4月~翌3月) H25	3,563,624 (4月~翌3月)	△	あり なし	● 外的要因(高速道路の休日割引制度)の影響などにより、JR金沢駅の利用者数にも影響があり目標の達成には至らなかった。	平成26年4月	
	指標4	金沢ふらっとバスの利用者	人/年	685,439 H17~H19	700,000 H25	799,778	762,738	○	あり なし	長町ルート新設などのサービス向上により、バス利用者は増加しており、効果は発現している。	平成26年4月	
	指標5											
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値 基準年度	目標値 目標年度	数 値 モニタリング 評価値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
	その他の数値指標3											
4)定性的な効果発現状況												
5)実施過程の評価			実施内容			実施状況			今後の対応方針等			
	モニタリング	金沢市統計データ等によるモニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●	交付期間途中で供用した事業の効果を確認することができた。モニタリング同様に毎年度の本市統計書により確認する。			
	住民参加プロセス				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	持続的なまちづくり体制の構築				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

様式2-2 地区の概要


金沢中央地区(石川県金沢市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
北陸新幹線開業を見据え、まちなかの定住と交流を促進し、魅力あるまちづくりを推進 目標1: 誰もが暮らしやすい中心市街地 目標2: にぎわいと交流が生まれる中心市街地 目標3: 過度に自動車に依存しない中心市街地	重点整備地区人口の社会動態(増減差)	人/年	平均△5	H17~H19	0	H25	144	H23年
	主要商業地の歩行者通行量	人/日	休日 59,999	H19	休日 60,000	H25	休日 58,598	H24年
	JR金沢駅の利用者数	人/年	3,727,370	H15~H19	3,728,000	H25	3,563,624	H23年
	金沢ふらっとバスの利用者	人/年	685,439	H17~H19	700,000	H25	762,738	H24年


金沢中央地区(石川県金沢市) 整備方針概要図



せせらぎ水路

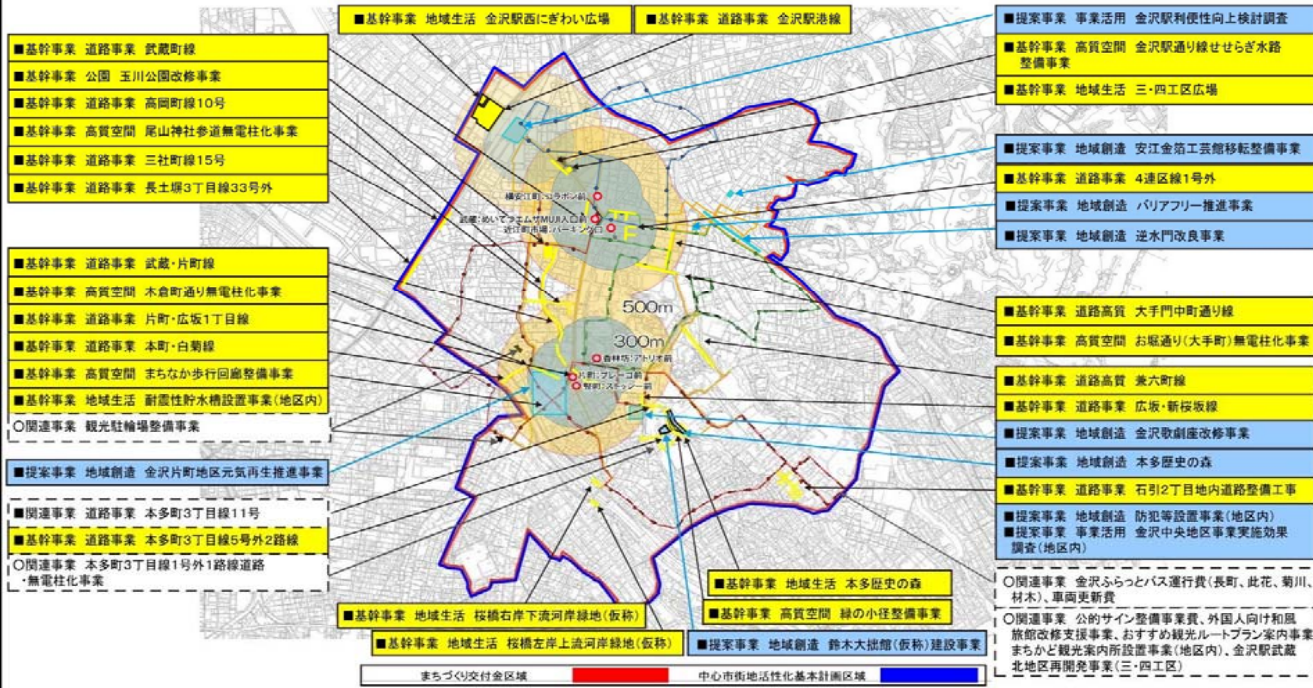



大手門中町通り無電柱化




木倉町通り無電柱化

主要商業地からの距離(300m圏)






安江金箔工芸館



鈴木大拙館



お堀通り無電柱化

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> まちなかの各種事業を重層的に実施したことで、まちなかの人口減少には一定の歯止めがみられている。 商店街の歩行者数については、悪天候の影響もあり目標に達しなかったが、歩行者数は増加傾向にある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 北陸新幹線開業を見据え、にぎわいのあるまちづくりを推進するため、歴史的まちなみや建造物群の保存、無電柱化、用水沿いの修景整備などによるまちの魅力の向上が必要である。 まちなかでは依然として駐車場、空地などの低未利用地が存在していることから、これらを住宅地等への転換を図り、定住人口の増加に繋げることが必要である。 交通渋滞や細街路へのマイカーの流入による環境問題の解消のため、引き続き公共交通の利便性の向上や良好な歩行環境の確保が必要である。 無電柱化や道路整備などを進めてきたが、線として繋がりのある整備になっていない箇所もあることから、引き続き連続性のある整備が必要である。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

- 添付様式8 都市再生整備計画評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標	●		指標3: JR金沢駅の利用者数 【集計期間】 従前値: 1～12月	指標3: JR金沢駅の利用者数 【集計期間】 モニタリング以降: 4～翌3月以降	指標3: JR西日本が提供する年間利用者人数が、平成20年度より、年間(1月～12月)から年度(4月～翌3月)の集計値に変更された。集計期間の変更による影響は少ない(従前値の年度と年間の差は約0.1%)ため、モニタリング以降は年度の集計値を用いる。
C. 目標値		●			
D. その他()					

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	(縦)4連区線1号外(近江町市場周辺道路)	80	L=300m	55	L=315m	契約差金及び修景箇所減に伴うもの	影響なし	●	
道路	高岡町線10号	110	L=70m	53	L=70m	地元調整等にもない一部区間についてH26以降に着手	中心市街地の賑わいに関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		
道路	三社町線15号(新幹線側道整備)	227	L=156m	188.2	L=156m	事業費の精査による減	影響なし	●	
道路	長土堀3丁目線33号外(新幹線側道整備)	82	L=243m	104.5	L=243m	事業費の精査による増	影響なし		●
道路	石引2丁目地内道路整備工事	38	L=865m	32.2	L=865m	事業費の精査による減	影響なし	●	
道路	武蔵町線	40	L=260m	26	L=262m	舗装材料の変更による減 自然石骨材→紅桜骨材	影響なし	●	
道路	広坂・新桜坂線(本多町歴史文化ゾーン整備事業)	50	L=75m	29	L=76m	契約差金及び修景箇所減に伴うもの	影響なし	●	
道路	片町・広坂1丁目線	27	L=365m	26.5	L=365m	入札差金による減	影響なし	●	
道路	兼六町線	13	L=380m	15.4	L=373m	事業の精査により、工事費の増	影響なし	●	
道路	武蔵・片町線	21	L=590m	18.9	L=590m	事業の精査により、工事費の増	影響なし	●	
道路	本町・白菊線	55	L=210m	43.3	L=210m	入札による減	影響なし	●	
道路	香林坊2丁目線	10	L=95m	0	—	地元調整等にもないH26以降に着手	中心市街地の賑わいに関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		
道路	金沢駅港線(金沢駅西広場)	2,208	A=25,000㎡	2283.2	A=24,600㎡	工事内容の変更による工事費の増	影響なし		●
道路	大手門中町通り線	110	L=150m	116	L=150m	歩道消雪工、信号機設置工等の増	影響なし	●	
道路	準幹線514号本町・白菊線	143	L=80m	0	—	地元調整等にもないH26以降に着手	中心市街地の賑わいに関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		
道路	西外惣構堀沿い(玉川公園横)	83	L=200m	0	—	地元調整等にもないH26以降に着手	中心市街地の賑わいに関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		
道路	旧鶴来街道(蛤坂)(桜詰橋・寺町台界隈整備事業)	60	L=210m	0	—	地元調整等にもないH26以降に着手	中心市街地の賑わいに関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		
道路	本多町3丁目線5号外2路線(本多町歴史文化ゾーン整備事業)	14	L=330m	23.4	L=324m	修景箇所増に伴うもの	影響なし	●	

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
公園	玉川公園改修事業	-	-	52	A=5,697㎡	玉川公園を改修し、防災機能をもった公園としてリニューアルするため、平成25年度より事業を実施した	防災力の向上による中心市街地の人口増加に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		●
地域生活基盤施設	桜橋左岸上流河岸緑地(仮称)(桜橋詰・寺町台界隈整備事業)	82	A=533㎡	88.7	A=533㎡	設置彫刻制作(N=1体)追加のため	影響なし	●	
地域生活基盤施設	本多歴史の森(本多町歴史文化ゾーン整備事業)	189	A=2,157㎡	158.4	A=1,760㎡	鈴木大拙館敷地面積増による周辺緑地面積減	影響なし	●	
地域生活基盤施設	桜橋右岸下流河岸緑地(桜橋詰・寺町台界隈整備事業)	256	A=1,857㎡	87.5	A=1,857㎡	解体工事設計見直しによる事業費減	影響なし	●	
地域生活基盤施設	金沢駅西にぎわい広場	286	A=1,900㎡	667.1	A=2,400㎡	施行面積増による用地補償費の増	影響なし		●
地域生活基盤施設	三・四工区広場	8	A=200㎡	9.2	A=230㎡	A=200㎡→A=230㎡	影響なし	●	
地域生活基盤施設	耐震性貯水槽設置事業	36	-	40.9	-	耐震性貯水槽設置計画の見直しに伴い、設置場所を変更したもの	影響なし	●	
地域生活基盤施設	まちなか歩行回廊整備事業	63	A=400㎡	0	-	他事業との調整にともないH26以降に着手	-		
高質空間形成施設	金沢駅通り線せせらぎ水路整備事業	22	L=100m	20.5	L=110m	入札による減額	影響なし	●	
高質空間形成施設	(継)木倉町通り無電柱化事業	200	L=240m	330.9	L=240m	地中化の工法変更に伴うもの	影響なし	●	
高質空間形成施設	お堀通り(大手町)無電柱化事業	300	L=300m	566.1	L=320m	地中化の工法変更に伴うもの	影響なし	●	
高質空間形成施設	旧北国街道(ふくろう通り)無電柱化事業	410	L=380m	0	-	他事業との調整にともないH26以降に着手	中心市街地の賑わいに関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		
高質空間形成施設	香林坊2丁目線(右衛門橋)無電柱化事業	80	L=80m	0	-	地元調整等にともないH26以降に着手	中心市街地の賑わいに関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		
高質空間形成施設	鞍月用水沿い(香林坊2丁目)無電柱化事業	200	L=140m	0	-	地元調整等にともないH26以降に着手	中心市街地の賑わいに関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		
高質空間形成施設	尾山神社参道無電柱化事業	300	L=330m	125.1	L=150m	地元調整等にともない一部区間についてH26以降に着手	影響なし		●
高質空間形成施設	大手門中町通り線無電柱化事業	108	L=300m	104	L=300m	事業の精査による延長減	影響なし	●	
高質空間形成施設	準幹線514号本町・白菊線無電柱化事業	72	L=80m	0	-	他事業との調整にともないH26以降に着手	中心市街地の賑わいに関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		
高質空間形成施設	西外惣構堀沿い(玉川公園横)無電柱化事業	180	L=200m	0	-	他事業との調整にともないH26以降に着手	中心市街地の賑わいに関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
高質空間形成施設	旧鶴来街道(蛤坂)無電柱化事業(桜橋詰・寺町台界隈整備事業)	188	L=210m	0	—	地元調整等にともないH26以降に着手	中心市街地の賑わいに関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		
高質空間形成施設	緑の小径整備事業(本多町歴史文化ゾーン整備事業)	40	L=280m	31.6	L=280m	変更なし	—	●	
高質空間形成施設	まちなか歩行回廊整備事業	72	—	3	バス停ベンチ N=13基	バス停ベンチの設置 地元調整等にともない一部事業についてH26以降に着手	中心市街地の賑わいに関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●	

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造支援事業	安江金箔工芸館移転整備事業	703	A=1,400㎡	661.5	A=1,392㎡	事業費の精査による	影響なし	●	
	金沢歌劇座改修事業	1198.8	—	1084.6	—	入札による減額	芸術・文化の発信拠点にふさわしい効果的な利用ができるよう舞台機能改修工事を行うことにより、中心市街地の賑わい創出を図った。 【ホール稼働率】 H20 77.1% → H24 80.3%	●	
	防犯灯設置事業	5	100灯	5.8	128灯	H21事業費において0.8の増(当初計画1.0→実績1.8)	H21～H25実績: 128灯 5,779,120円 計画どおり実施し、安全で安心な住みよいまちづくりに寄与した。	●	
	鈴木大拙館(仮称)建設事業(本多町歴史文化ゾーン整備事業)	363.6	A=550㎡	666.2	A=632㎡	事業費の精査による	影響なし	●	
	本多歴史の森(本多町歴史文化ゾーン整備事業)	165.5	A=8,000㎡	115.2	A=2,467㎡	計画見直しによる整備緑地面積減	影響なし	●	
	バリアフリー推進事業	—	—	2	音声誘導装置システムの設置事業追加による事業費の	H22 金沢蓄音器館 H23 中央公民館長町館	影響なし	●	
	逆水門改良事業	—	—	42.8	N=8基	近年頻発する局所的集中豪雨から歴史的なまちなみを守るため、平成22年度より事業を実施	影響なし	●	
	金沢片町地区元気再生推進事業	—	—	0.8	—	中心市街地の活性化を推進するため	影響なし		●
事業活用調査	金沢駅利便性向上検討調査	3	—	3	—	—	—	●	
	金沢中央地区事業実施効果調査	3	—	3	—	—	—		●
まちづくり活動推進事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

(参考)関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
金沢ふらっとバス(長町)運行費			64	64	平成23年度～平成25年度	平成23年度～平成25年度	継続中	
金沢ふらっとバス(此花)運行費			70	70	平成21年度～平成25年度	平成21年度～平成25年度	継続中	
金沢ふらっとバス(菊川)運行費			118	118	平成21年度～平成25年度	平成21年度～平成25年度	継続中	
金沢ふらっとバス(材木)運行費			164	164	平成21年度～平成25年度	平成21年度～平成25年度	継続中	
金沢ふらっとバス車両更新費			96	96	平成21年度～平成25年度	平成21年度～平成25年度	継続中	
公的サイン整備事業費			3.6	3.6	平成21年度～平成25年度	平成21年度～平成25年度	整備継続中	
観光駐輪場整備事業費		野町、長町	2.4	2.4	平成21年度～平成22年度	平成21年度～平成22年度	平成22年度にて整備完了	東山・にし茶屋・長町の各地区に駐輪場整備済み
外国人向け和風旅館改修支援事業			35	35	平成21年度～平成25年度	平成21年度～平成25年度	今後也要望に基づき、補助金交付	
まちかど観光案内所設置事業			1	0	平成21年度～平成25年度	平成21年度のみ	今後、まちかど観光案内所として立候補があれば、既決内予算で対応	
十間町活性化広場			162.5	162.5	平成21年度～平成22年度	平成21年度～平成22年度	平成22年度にて整備完了	
金沢駅武蔵北地区再開発事業(三・四工区)			10,800	10,000	平成16年度～平成22年度	平成16年度～平成24年度	平成24年度完了	
本多町3丁目線1号外1路線(本多町歴史文化ゾーン整備事業)道路			-	64	平成21年度～平成23年度	単独費で事業執行	平成23年度完了	基幹事業から関連事業へ変更
本多町3丁目線1号外1路線無電柱化事業(本多町歴史文化ゾーン整備事業)			-	63	平成21年度～平成23年度	地元調整等にもない平成26以降に着手	平成26以降に着手	基幹事業から関連事業へ変更
本多町3丁目線11号(本多町歴史文化ゾーン整備事業)			-	10	平成21年度～平成23年度	地元調整等にもない平成26以降に着手	平成26以降に着手	基幹事業から関連事業へ変更

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無	
			基準年度		基準年度		目標年度						あり	なし	
指標1	重点整備地区の社会動態 (増減差)	人/年	金沢市調査統計室による「金沢市統計データ集の町丁別人口・世帯数」を参照		平均△5	H17 ~H19	0	H25年	モニタリング	H22	229	モニタリング	○		
									事後評価	確定見込み: ●	144	事後評価	○		
指標2	主要商業地の歩行者通行量	人/日	金沢市商業振興課と金沢市商店街連盟による「歩行者通行量調査報告書」を参照		休日 59,999	H19	休日60,000	H25年	モニタリング	H23	70,600	モニタリング	○	●	
									事後評価	確定見込み: ●	58,598	事後評価	△		
指標3	JR金沢駅の利用者数	人/年	西日本旅客鉄道株式会社金沢支社発表のJR乗車人員数		3,727,370 (1月~12月)	H15 ~H19	3,728,000 (4月~翌3月)	H25年	モニタリング	H22	3,536,870	モニタリング	×		●
									事後評価	確定見込み: ●	3,563,624	事後評価	△		
指標4	金沢ふらっとバスの利用者	人/年	金沢市歩ける環境推進課による金沢ふらっとバス乗車人員推移の集計を参照		685,439	H17 ~H19	700,000	H25年	モニタリング	H22	799,778	モニタリング	○		
									事後評価	確定見込み: ●	762,738	事後評価	○		
指標5									モニタリング			モニタリング			
									事後評価	確定見込み:		事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	期待どおりの効果が現れた。	
指標2	目標値には達していないが、調査日が雨天であったため、歩行者数が大幅に減少したことが想定される。晴天であった前年では達成済みであることから、歩行者数は増加傾向にあることが想定され、H25年の調査時において晴天に恵まれれば、目標値の達成は確実と考えられる。	・近年の増加傾向により、H25年の調査日が晴天に恵まれれば、目標値の達成は確実と考えられる。
指標3	高速道路の休日割引が実施されるなど、予想以上にJR利用者の減少が進み、目標を達成できなかったが、休日割引のH23.6の終了後に、JR利用者の回復がみられている。今後1年以内に目標を達成できる明確な理由がないため、達成見込みは「なし」としているが、観光客の増加傾向(H19: 6,967千人→H23: 7,618千人)などから、今後もJR金沢駅の利用者の増加とともに、金沢の観光客の増加が期待できると考えられる。	・JR金沢駅の利用者数データの公表がやや遅いため、直近のデータの把握が難しい。 ・「統計から見た石川の観光」では、金沢地域の観光客は増加傾向(H19: 6,967千人→H23: 7,618千人) ・H27年春予定の北陸新幹線の開業により、今後大幅な利用者数の増加が見込まれる。
指標4	期待どおりの効果が現れた。	
指標5		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)	
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度	モニタリング	事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標1								モニタリング				
								事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標2								モニタリング				
								事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標3								モニタリング				
								事後評価	確定 見込み			

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
金沢市統計書等によるモニタリング	予定どおり実施した	● 【実施頻度】中間年度に1回 【実施時期】中間年度10月 【実施結果】各指標について交付期間中の変化を確認することができた。	モニタリング同様に、毎年度の金沢市統計書等により確認する。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
地元説明会の開催 【緑と花の課】	予定どおり実施した	● 【実施頻度】玉川公園:計5回(事前説明会4回、工事実施についての説明会1回) 【実施時期】平成25年度 【実施結果】説明会を開催することにより、公園を改修する趣旨をご理解いただくとともに、寄せられた意見を整備に反映させ、よりいっそうの公園利用が促進された。	今後も市民が利用しやすい公園として維持管理を進める。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
公園愛護活動の実施 【緑と花の課】	予定どおり実施した	● 公園愛護活動による公園の除草、清掃やトイレ清掃等の実施	地元町会、地元有志による管理団体	継続的に公園愛護の実施を進め、官民協働の公園管理体制の構築を図る。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織 (都市再生整備計画事後評価検討チーム)	関係各課まちづくり交付金担当職員 (観光交流課、危機管理課、交通政策課、市街地再生課、消防総務課、障害福祉課、道路管理課、内水整備課、文化政策課、緑と花の課、歴史建造物整備課、歩ける環境推進課、道路管理課、道路建設課、都市計画課、企画調整課)	平成25年8月～9月	都市計画課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標4					
指標名		重点整備地区人口の社会動態 (増減差)		金沢ふらっとバスの利用者					
種別	事業名・箇所名	指標改善への 貢献度	総合所見	指標改善への 貢献度	総合所見	指標改善への 貢献度	総合所見	指標改善への 貢献度	総合所見
基幹事業	(継)4連合区線1号外(近江町市場周辺道路)	○	事業を重層的に行ったことでのまちの魅力向上に繋がり、人口減少の下げ止まりに貢献した。	○	長町ルート新設などのサービス向上により、バス利用者は増加しており、効果は発現している。				
	高岡町線10号	○		-					
	三社町線15号(新幹線側道整備)	○		-					
	長土塙3丁目線33号外(新幹線側道整備)	○		-					
	石引2丁目地内道路整備工事	○		-					
	武蔵町線	○		-					
	広坂・新桜坂線(本多町歴史文化ゾーン整備事業)	○		-					
	片町・広坂1丁目線	○		-					
	兼六町線	○		-					
	武蔵・片町線	○		-					
	本町・白菊線	○		-					
	金沢駅港線(金沢駅西広場)	-		-					
	天守門中町通り線	○		-					
	本多町3丁目線5号外2路線(本多町歴史文化ゾーン整備事業)	-		-					
	玉川公園改修事業	○		-					
	桜橋左岸上流河岸緑地(仮称)(桜橋話・寺町台界隈整備事業)	○		-					
	本多歴史の森(本多町歴史文化ゾーン整備事業)	○		-					
	桜橋右岸下流河岸緑地(桜橋話・寺町台界隈整備事業)	○		-					
	金沢駅西にぎわい広場	-		-					
	三・四工区広場	○		-					
	耐震性貯水槽設置事業	○		-					
	金沢駅通り線せせらぎ水路整備事業	-		-					
	(継)本倉町通り無電柱化事業	-		-					
	お堀通り(大手町)無電柱化事業	-		-					
	尾山神社参道無電柱化事業	-		-					
	天守門中町通り線無電柱化事業	○		-					
	緑の小径整備事業(本多町歴史文化ゾーン整備事業)	-		-					
	まちなか歩行回廊整備事業	-		-					

指標の種別		指標1	指標4		
指標名		重点整備地区人口の社会動態 (増減差)	金沢ふらっとバスの利用者		
種別	事業名・箇所名	指標改善への 貢献度	総合所見	指標改善への 貢献度	総合所見
提案事業	安江金箔工芸館移転整備事業	-	事業を重層的に行ったこと でまちの魅力向上に繋がり、 人口減少の下げ止まりに 貢献した。	◎	長町ルート新設などのサービス 向上により、バス利用者は 増加しており、効果は発現 している。
	金沢歌劇座改修事業	-		◎	
	防犯灯設置事業	○		-	
	鈴木大拙館(仮称)建設事業(本多町歴史文化ゾーン整備事業)	-		◎	
	本多歴史の森(本多町歴史文化ゾーン整備事業)	-		◎	
	バリアフリー推進事業	○		-	
	逆水門改良事業	○		-	
	金沢片町地区元気再生推進事業	○		-	
	金沢駅利便性向上検討調査	-		-	
	金沢中央地区事業実施効果調査	-		-	
関連事業	金沢ふらっとバス(長町)運行費	○	◎		
	金沢ふらっとバス(此花)運行費	○	◎		
	金沢ふらっとバス(菊川)運行費	○	◎		
	金沢ふらっとバス(材木)運行費	○	◎		
	金沢ふらっとバス車両更新費	○	◎		
	公的サイン整備事業費	-	-		
	観光駐輪場整備事業費	-	-		
	外国人向け和風旅館改修支援事業	-	-		
	おすすめ観光ルートプラン案内事業	-	-		
	まちかど観光案内所設置事業	-	-		
	十間町活性化広場	-	-		
	金沢駅武蔵北地区再開発事業(三・四工区)	○	-		
	本多町3丁目線1号外1路線(本多町歴史文化ゾーン整備事業)道路	-	-		
	本多町3丁目線1号外1路線無電柱化事業(本多町歴史文化ゾーン整備事業)	-	-		

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	道路空間の質の向上、治水事業や防犯による安全・安心の確保に努め、住環境の向上を図ることで、今後においても目標値の達成が期待される。	ふらっとバス路線上の道路空間整備を促進することによって、沿道の都市空間の充実を図ることで、フォローアップ時においても目標値が達成されると推測される。	
-------	---	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標2			指標3									
指標名		主要商業地の歩行者通行量			JR金沢駅の利用者数									
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	
基幹事業	(継)4連合区線1号外(近江町市場周辺道路)	△	H24は雨天であったため目標は達成していないが、近年の歩行者通行量は増加傾向にある。		△	外的要因(高速道路の休日割引制度)の影響などにより、JR金沢駅の利用者数にも影響があり目標の達成には至らなかった。								
	高岡町線10号	-			-									-
	三社町線15号(新幹線側道整備)	-			-									-
	長土塀3丁目線33号外(新幹線側道整備)	-			-									-
	石引2丁目地内道路整備工事	-			△									-
	武蔵町線	△			△									-
	広坂・新桜坂線(本多町歴史文化ゾーン整備事業)	△			△									-
	片町・広坂1丁目線	△			-									-
	兼六町線	△			△									-
	武蔵・片町線	△			-									-
	本町・白菊線	△			△									-
	香林坊2丁目線	△			-									-
	金沢駅港線(金沢駅西広場)	-			△									-
	大手門中町通り線	△			△									-
	本多町3丁目線5号外2路線(本多町歴史文化ゾーン整備事業)	△			-									-
	玉川公園改修事業	△			-									-
	桜橋左岸上流河岸緑地(仮称)(桜橋詰・寺町台界限整備事業)	△			△									-
	本多歴史の森(本多町歴史文化ゾーン整備事業)	△			△									-
	桜橋右岸下流河岸緑地(桜橋詰・寺町台界限整備事業)	-			-									-
	金沢駅西にぎわい広場	△			-									-
	三・四工区広場	-			-									-
	耐震性貯水槽設置事業	-			-									-
	金沢駅通り線せせらぎ水路整備事業	△			-									-
	(継)木倉町通り無電柱化事業	△			-									-
	お堀通り(大手町)無電柱化事業	△			-									-
	尾山神社参道無電柱化事業	△			-									-
	大手門中町通り線無電柱化事業	△			△									-
	緑の小径整備事業(本多町歴史文化ゾーン整備事業)	△			△									-
まちなか歩行回廊整備事業	△	-	-											

指標の種別		指標2		指標3					
指標名		主要商業地の歩行者通行量		JR金沢駅の利用者数					
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
提案事業	安江金箔工芸館移転整備事業	△	H24は雨天であったため目標は達成していないが、近年の歩行者通行量は増加傾向にある。	△	外的要因(高速道路の休日割引制度)の影響などにより、JR金沢駅の利用者数にも影響があり目標の達成には至らなかった。				
	金沢歌劇座改修事業	△		△					
	防犯灯設置事業	-		-					
	鈴木大拙館(仮称)建設事業(本多町歴史文化ゾーン整備事業)	△		△					
	本多歴史の森(本多町歴史文化ゾーン整備事業)	△		△					
	バリアフリー推進事業	△		△					
	逆水門改良事業	-		-					
	金沢片町地区元気再生推進事業	△		-					
	金沢駅利便性向上検討調査	△		△					
	金沢中央地区事業実施効果調査	-		-					
関連事業	金沢ふらっとバス(長町)運行費	△		-					
	金沢ふらっとバス(此花)運行費	△		-					
	金沢ふらっとバス(菊川)運行費	△		-					
	金沢ふらっとバス(材木)運行費	△		-					
	金沢ふらっとバス車両更新費	-		-					
	公的サイン整備事業費	△		-					
	観光駐輪場整備事業費	△		-					
	外国人向け和風旅館改修支援事業	△		-					
	おすすめ観光ルートプラン案内事業	△		-					
	まちかど観光案内所設置事業	△		-					
	十間町活性化広場	△		-					
	金沢駅武蔵北地区再開発事業(三・四工区)	△		-					
	本多町3丁目線1号外1路線(本多町歴史文化ゾーン整備事業)道路	△		-					
	本多町3丁目線1号外1路線無電柱化事業(本多町歴史文化ゾーン整備事業)	△		-					

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	道路空間や広場などの整備事業が促進され、商業地を中心にまちなかの回遊性向上が図られていることから、フォローアップ時においては目標値の達成が期待される。	外的要因の消滅を受け、引き続き道路空間や広場などの整備事業を促進することによって、魅力的な都市景観の形成を図るとともに、北陸新幹線の開業が図られることで、目標値の達成が期待される。		
------------------	---	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織 (都市再生整備計画事後評価検討チーム)	関係各課まちづくり交付金担当職員 (観光交流課、危機管理課、交通政策課、市街地再生課、消防総務課、障害福祉課、道路管理課、内水整備課、文化政策課、緑と花の課、歴史建造物整備課、歩ける環境推進課、道路管理課、道路建設課、都市計画課、企画調整課)	平成25年8月～9月	都市計画課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
まちの魅力向上・まちなかの 回遊性向上	安江金箔工芸館(平成22年移転完了)、鈴木大拙館(平成23年完成)、金沢歌劇座(平成22年改修完了)など、来街者をもてなす施設が充実しつつある。 また、道路や無電柱化事業が完了した箇所では、まちなみの修景が進みつつある。	道路事業との関連により、無電柱化が遅延となった箇所が存在しており、次期計画により着実な実施が求められる。 また、防災面からも、無電柱化の推進が必要が高まっている。 北陸新幹線の開業まで間近に迫っている一方で、JR金沢駅の利用者はやや伸び悩み傾向にあり、金沢駅からまちなかまでの回遊性・魅力向上を進めていく必要がある。	まちなかへの定住人口の継続的な確保により、まちなかの活力維持・賑わい創出などを図っていく必要がある。 その他、北陸新幹線の開業により、新たな課題が発生する可能性もあるため、その場合は迅速に対応することが必要である。
街なか人口の確保	まちなかの各種事業を重層的に実施したことで、街なかの人口減少には一定の歯止めがみられている。	まちなかの人口減少の歯止めはかかったものの、今後におけるさらなるまちなか居住を進めていく必要がある。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	観光施設などの公共施設の来館者数の持続	引き続きにぎわいと交流が促進される整備(ハード)は必要であるが、各施設において、イベント事業などのソフト事業を推進することも必要	各施設におけるイベント事業

B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	美しく安全なまちづくり	歴史的まちなみや建造物群の保存、無電柱化、用水沿いの修景整備などによるまちの魅力及び防災性の向上	無電柱化、道路修景、用水沿いの整備
	定住人口の増加	駐車場、空地などの低未利用地の住宅地等への転換	道路整備、公園・広場整備、安全施設の整備、集客施設の整備
	便利で移動しやすいまちづくり	公共交通の利便性の向上及び良好な歩行環境の確保	無電柱化、JR駅をはじめとした公共交通機関等の利便性の向上、駐輪場整備
	連続性のある整備	点在して整備してきた施設を、引き続き連続性が生まれるような整備を行う	道路整備、無電柱化、案内施設の整備、安全施設の整備

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

本地区においては、定住人口や歩行者数が増加傾向にあるなど、従前と比較するとまちなかの賑わいが創出・回復されつつある。今後も引き続き、まちなかの活力創出のための施策を展開していくことが必要と考えられる。

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値			目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画				
			年度	年度	年度	年度							予定時期	計測方法	その他特記事項		
指標1	重点整備地区人口の社会動態(増減差)	人/年	平均△5	H17~H19	0	H25年	確定 見込み	●	144	○	あり なし	→	平成26年4月	平成24年の重点整備地区の転居入出及び転入出状況を把握し、達成状況を把握する			
指標2	主要商業地の歩行者通行量	人/日	休日59,999	H19	休日60,000	H25年	確定 見込み	●	休日58,598	△	あり なし	●	→	平成26年4月	平成25年歩行者通行量調査の結果を確定値とする		
指標3	JR金沢駅の利用者数	人/年	3,727,370 (1月~12月)	H15~H19	3,728,000 (4月~翌3月)	H25年	確定 見込み	●	3,563,624 (4月~翌3月)	×	あり なし	●	→	平成26年4月	平成25年データが発表され次第、確定値とする	平成25年の利用状況が公表され次第実施	
指標4	金沢ふらっとバスの利用者	人/年	685,439	H17~H19	700,000	H25年	確定 見込み	●	762,738	○	あり なし	→	平成26年4月	平成25年度の利用者数を調査、集計し確定値とする			
指標5				H		H	確定 見込み				あり なし	→					
その他の数値指標1				H			確定 見込み						→				
その他の数値指標2				H			確定 見込み						→				
その他の数値指標3				H			確定 見込み						→				

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	・モニタリングを実施したことにより、交付期間途中で供用した事業の効果を確認することができた。	・天候に左右される数値目標は扱いにくいですが、代替できるデータが存在しないため、次善策として、評価年の天候が雨天の場合は特異値として、前年度の数値を用いることも検討すべきである。
	うまくいかなかった点	・主要商業地の歩行者通行量については、天候に大きく左右されるため、雨天であった最終年の数値目標は達成できなかった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		・都市再生整備計画の目標指標について、観光に関するものは、施設利用者の直接把握や自転車利用などの指標で把握することも検討すべきである。
	うまくいかなかった点	・近年の観光動態は鉄道のみならず自動車や自転車など、移動手段が多岐にわたることから、観光の動態を把握するにはJR金沢駅の利用実績のみで判断することにはやや難があると考えられる。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	採用した指標は、金沢市等で毎年度数値が整理されており、年毎のデータ取得が可能であるため、モニタリングを容易に実施することができ、かつ、交付期間途中で供用した事業の効果を確認することができた。	・計画期間中のモニタリングの実施は、事業の進捗状況を確認できるため有効である。
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

- ・今後、都市再生整備計画の活用予定地区
金沢中央地区(第3期)
- ・今後、事後評価を予定している地区
金沢犀川南地区(平成27年度)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	平成25年9月10日～ 平成25年9月25日	平成25年9月10日～ 平成25年9月25日	担当課への 電話、FAX、電子メール	都市計画課 (都市再生整備計画担当課)
広報掲載・回覧・個別配布	新聞広告にホームページ及び 担当課窓口による公表を告示				
説明会・ワークショップ					
その他	窓口閲覧	平成25年9月10日～ 平成25年9月25日	平成25年9月10日～ 平成25年9月25日		

住民の意見	公表期間中、市HPには62件のアクセスがあったが、意見等は特になかった。
-------	--------------------------------------

(6) 都市再生整備計画評価委員会の審議

添付様式8 都市再生整備計画評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	馬場先 恵子(金沢学院大学 教授) 小林 史彦(金沢大学 講師)	平成25年10月1日(火)	都市計画課 (都市再生整備計画担当課)	金沢市都市再生整備計画評価委員会設置要綱	独自に設立
その他の委員	半田 隆彦((社)金沢経済同友会理事) 東 良勝(金沢市町会連合会長) 森田 郁代(金沢市校下婦人会連絡協議会副会長)				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・特になし。
	成果の評価	・妥当であると認められた。
	実施過程の評価	・妥当であると認められた。
	効果発現要因の整理	・妥当であると認められた。
	事後評価原案の公表の妥当性	・特になし。
	その他	・主要商業地の歩行者通行量(指標2)については、天候に左右される可能性がある指標であることに対して、今後検討を要する旨の意見があった。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・ふらっとバスの連携性向上、まちなか定住の促進などに対する意見があった。 ・今後、まちなか居住や公共交通の充実を図っていくためにも、本計画における事業と、他の定住促進策などとの相互の連携を図るなど、関連事業との横断的な連携を図っていくことが必要であるとの意見があった。
	フォローアップ	・特になし。
	その他	・特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。
その他	・特になし。	

※1 審議事項の詳細は「都市再生整備計画評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、都市再生整備計画評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--